

日々の点検の重要性を「見える化」～法面工向け体験型 VR 安全教育システム

危険が伴う法面作業において、日々の作業前点検の重要性を認識してもらうことを主眼に、VR 空間内で危険箇所を「見える化」し、自分事と捉えながら体験します。また、法面作業の未経験者に対しても、VR 空間で臨場感ある体験を通じて、従来は体験することができなかった危険な状況を疑似体験することで、事故の防止や危険予知に繋がります。

1. 事前安全教育



座学の状況



座学資料の例

参加者は VR 体験前に安全教育(座学)を学習し、法面工等の作業時における注意事項や作業に伴う各種の法律や規則について知識を深めます。

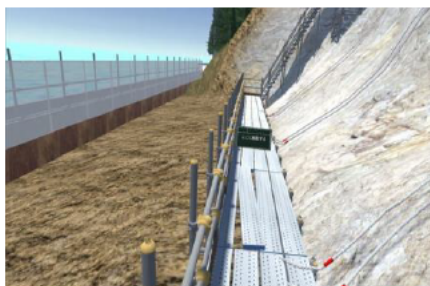
2. VR 体験



体験状況



共有モニター画面



VR 空間内の点検項目例



作業後の評価表示

安全教育(座学)の後、受講者は VR 空間内の臨場感あるモデル法面工事現場にて、ランダムに発生される点検項目を確認しながら、与えられたタスクを実行していきます。体験は 1 人あたり 5~10 分程度であり、終了後には行動結果が数値化され表示されるとともに、他の参加者と画面を共有しながら進めることで個々に気づきを与える効果も期待できます。